



安倍氏銃撃3年 演説風景は様変わり 21

安倍晋三元首相が銃撃された事件から8日で3年が経過した。県警は警護を強化しており、要人の周りを鉄柵で囲むなど、演説風景は様変わりしている。

命の尊さ、演劇で問う16



労働力確保へ外国人活用
リユースの輪、海外へ
街を包むジャズの旋律
高校野球チーム紹介⑩

総合 2・3 読者 15
スポーツ4・5・7・8 地域 16~18
経済・商況 10~12 社会 19~21
TV解説・小説 13

論説・特報

9

スペインで内戦犠牲者の遺骨回収作業



語る
スペインでは内戦とフランコ独裁体制時に殺害されたり行方不明になったりした犠牲者の遺骨回収作業が行われている。

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2025年[令和7年]

7月9日[水]

友引

©神奈川新聞社 29744号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

総合受付 045-227-1111[1ヵ月3500円・1部140円]

生前対策から相続税申告まで相続の専門家集団としてサポートします。

全15拠点(駅近)で安心の無料相談!

相談210,000件以上! 相続税申告9,500件超!



ランドマーク税理士法人グループ

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-48-7271

米、日本に関

来月1日まで

【ワシントン共同】トランプ米大統領は7日、貿易相手国・地域別に課す「相互関税」について、8月1

望んでいない改姓を強いられることがどれほどつらく、悲しいことか。大学3年の吉田帆菜さん(21)はそのことを、一番身近な女性を通して目の当たりにしてきた。母は事あるごとに、口にした。「私は自分の氏名すらも選べなかった」母の旧姓は「清」。出身地の宮崎県でも珍しい名字で、3人姉妹の長女だった母はとりわけ親しみを感じていた。だが、結婚を機に改姓させられた。父は「自分を変えてもいい」と言ったが、義理の両親が強く反対した。看護師だった母は吉田さんを産み、専業主婦になった。父は転勤が多く、家族で海外を転々とした。母は職場への復帰がかなわず、特技を生かして始めたパン教室も辞めざるを得なかった。そんな母に、義父はこう言ったという。「夫が稼いでくれて、海外にも駐在できて、君は幸せだね」吉田さんが代弁する。「母に期待されたのは『長男の嫁』としての役割で、自

望まない改姓 不平等



吉田 婦別姓 団法人 ンシ 加。今 開かれ 失する 出した 結婚 が必要

分らし れなか 男は 守る 価値 感じ

選択的夫婦